

## 第三次大山町総合計画の検討状況について

- 1 前回の振り返り
- 2 検討作業の進め方
- 3 検討作業の進捗状況

### 1 前回の振り返り

# 大山町総合計画の概要について

## 大山町総合計画とは…

将来における本町のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針

(大山町総合計画条例（平成25年大山町条例第27号）第1条）

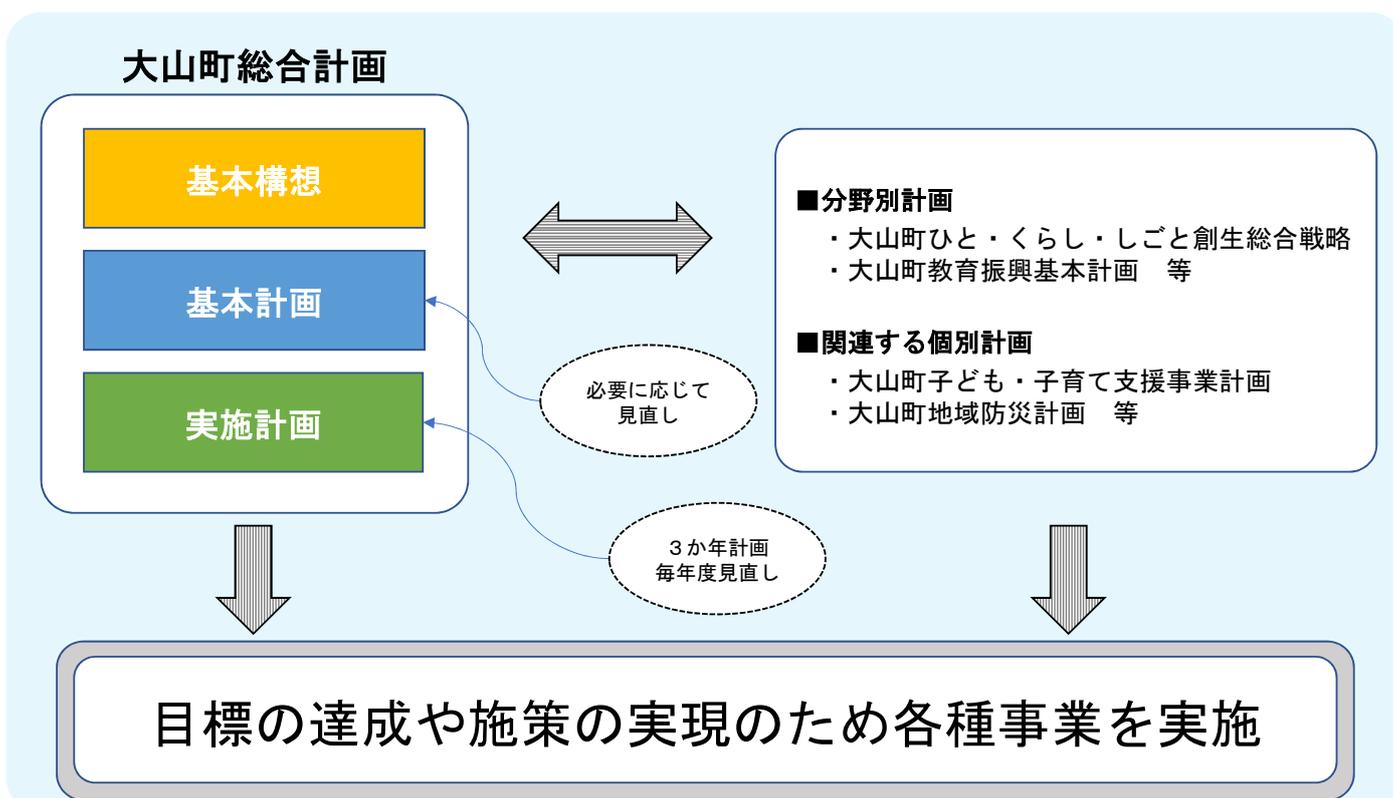
- 👉 いわゆる町の最上位に位置する計画
- 👉 総合的かつ計画的な町づくりを推進するため策定

## 大山町総合計画の構成は…

- 基本構想 町づくりの基本理念であり、将来構想と基本目標を示すもの
- 基本計画 町づくりの基本的な計画であり、基本目標をふまえた施策の基本的方向及び体系を示すもの
- 実施計画 町づくりの具体的な計画であり、施策を実現するため実施する事業を示すもの

3

# 大山町総合計画の概要について



4

# これまでの大山町総合計画

## 計画内容の比較

	第一次大山町総合計画	第二次大山町総合 (大山町未来づくり10年プラン)
計画期間	平成18年6月～平成28年3月	平成28年4月～令和8年3月
基本理念	大山の恵みを受け継ぎ、元気な未来を拓くまちづくり ～人と人、人と自然が心でつながるまち～	楽しさ自給率の高いまちへ
将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然と調和した快適な生活空間を実現するまちづくり</li> <li>・地域の特性を活かし、共生する教育文化のまちづくり</li> <li>・地域でつながり支え合う健康と福祉のまちづくり</li> <li>・特性を活かし魅力ある産業を展開するまちづくり</li> <li>・一人ひとりが大切にされ活かされる協働のまちづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちを愛し、自ら支える人であふれるまち</li> <li>・みんながつながり合い、思い合うまち</li> <li>・多様な働きが生まれる、見つかるまち</li> <li>・自然に寄り添い、自然を活かすまち</li> <li>・心身ともに安心・安全を実感できるまち</li> </ul>
重点施策 ・ 基本目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高度情報通信環境の整備とサービス提供の仕組みづくり</li> <li>●自然と文化に学ぶ特色ある教育環境づくり</li> <li>●保健・医療・福祉の連携による安心の定住環境づくり</li> <li>●子育て環境の充実による若者の定住環境づくり</li> <li>●住民自治の機能強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●未来のまちを支えるひとづくり</li> <li>●働き甲斐が感じられるしごとづくり</li> <li>●生涯を通じて幸せを感じるくらしづくり</li> <li>●手を取り助け合うなかまづくり</li> <li>●地域の誇りや顔となるめぐみづくり</li> </ul>

5

## 第一次総合計画の特徴

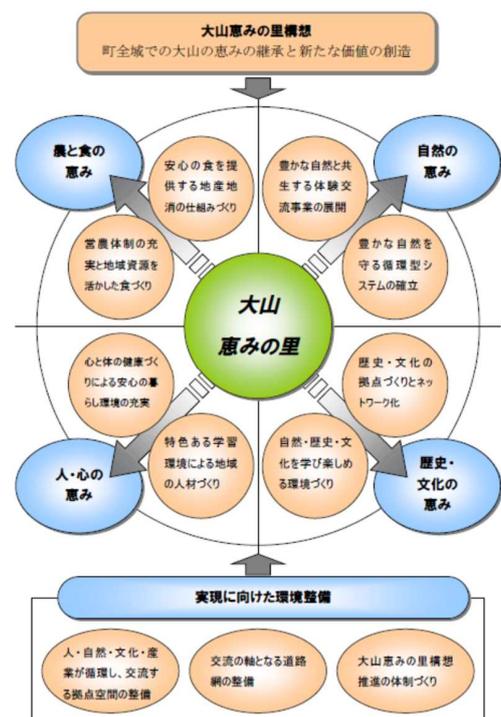
### 新町が一体となったまちの基礎づくり

第一次総合計画は、3町が合併し新町・大山町となってから初めて策定した総合計画です。

- ・「自然の恵み」
- ・「歴史・文化の恵み」
- ・「農と食の恵み」
- ・「人・心の恵み」

これらを大山の恵みと位置づけ、町全域で大切に継承するとともに、更なる活用や融合により、新たな価値の創造をめざす「大山恵みの里構想」を掲げて、シンボル事業に取り組みました。

これによって、豊かな自然環境や自然の恵みといった新町・大山町の町民共通の理解が醸成され、大山を軸とする大山町の優位性として改めて認識されています。



(出典) 大山町総合計画 (平成18年6月～平成28年3月)

6

## 第二次総合計画の特徴

### 人が主役の3つの歯車 人づくりと楽しさ自給

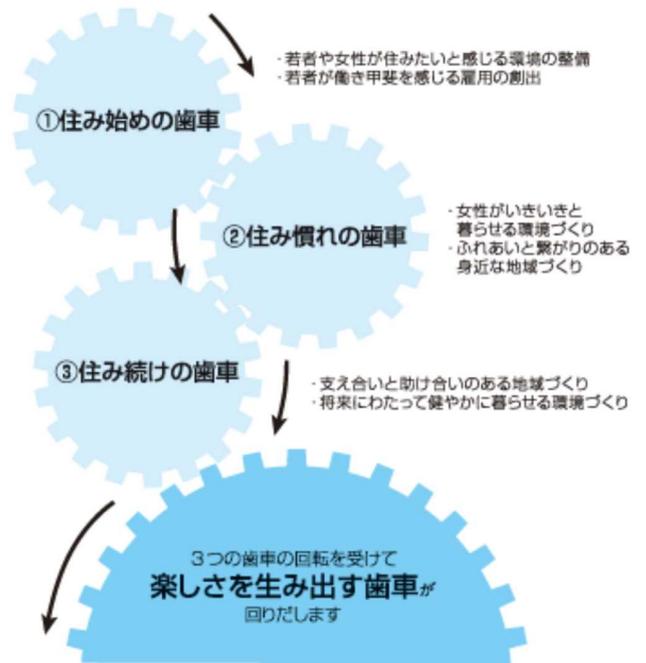
新町の基礎づくりが実現し、その成果を引き継ぎながら、いきいきと暮らし続けることのできるまちをつくっていく人、その行動を支える「楽しさ」に着目をしたのが、第二次総合計画です。

「楽しさ」のもととなる資源や生き生きと活動する人たちが楽しさを生み出し、その人たち同士がつながってさらなる楽しさが生まれていく、そのような「楽しさ自給率の高いまち」を目指し、協働のまちづくりに取り組んでいます。

人口減少・少子高齢化に対して、「人が主役の3つの歯車」のイメージをもとに施策を分類し、取り組みの推進を図っています。

- ① 住み始めの歯車
- ② 住み慣れの歯車
- ③ 住み続けの歯車

■「人が主役の3つの歯車」によるまちの活性化のイメージ図

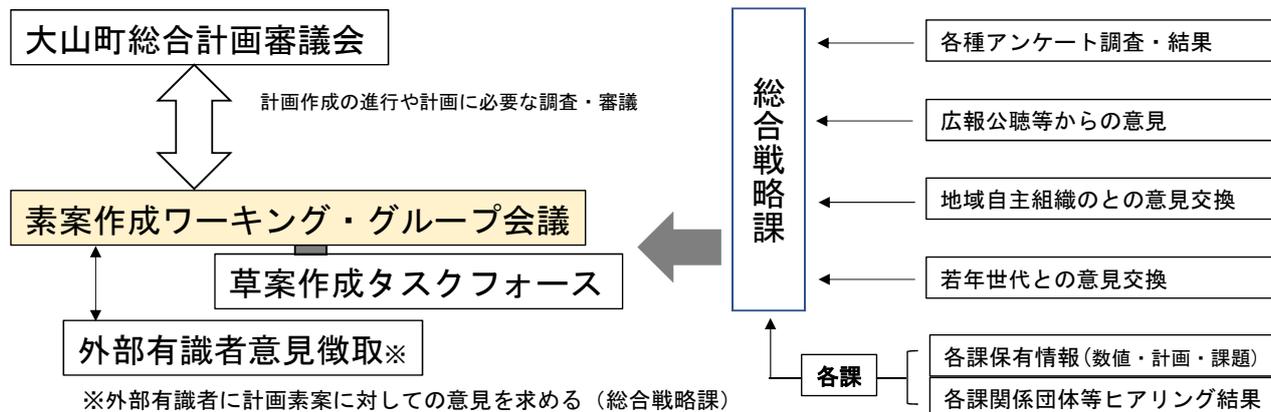


(出典) 第二次大山町総合計画 (平成28年4月～令和8年3月)

## 2 検討作業の進め方

# 計画策定における各役割と作業（ワーキング・グループ会議資料）

## 会議体の役割と作業の分担



●素案作成ワーキング・グループ会議…計画草案を元に主に課長級の職員と外部の関係者で計画素案を作成  
 ☞ タスクフォースで作成された草案を審議会へ供給する計画素案とするため細部の確認や意見調整を図る。

●草案作成タスクフォース…各課(ブロック)のとりまとめ役、基本構想草案・基本計画草案の作成とチェック  
 ☞ 各課で保有する情報のとりまとめ・意見集約、左記の情報とアンケート・ヒアリング・意見交換等の基礎データを元に担当分野の計画草案をスポット的に作成する。 等

9

# 計画策定における各役割と作業（ワーキング・グループ会議資料）

## 計画策定における考え方（テーマ）

・人口減少社会への適応策と緩和策

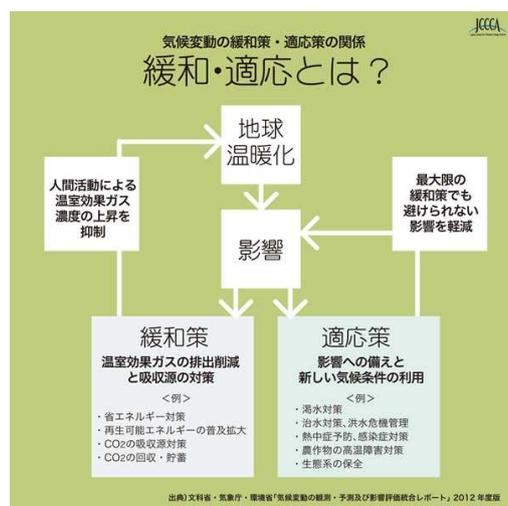
●人口減少社会が加速していく中では、  
 現在の行政サービスを現在の手法によって  
 維持することは不可能。

●緩和策だけでなく適応策の検討が必要。

- ・人口減少の進度を緩める緩和策
- ・将来人口の規模に応じた適応策

☞ 作業の視点にパラダイムシフトを持つ。

各分野の現状の課題・住民ニーズを明確に洗い出し、2040年の社会情勢を  
 想像して、緩和できる幅と適応できる幅から2033年までの道のりを考える。



10

## 計画策定における各役割と作業（ワーキング・グループ会議資料）

### 計画策定における考え方（テーマ）

- ・ 地方分権の推進による計画行政の改革
- 地方分権改革有識者会議において、地方公共団体における計画策定等における地方の自主性・自立性の確保に関する検討が進む。（令和3年11月12日）
- 「計画策定等における地方分権改革の推進について～効率的・効果的な計画行政に向けたナビゲーション・ガイド～」が閣議決定された。（令和5年3月31日）



各府省における制度の検討等に当たって、地方公共団体に対する新規の計画策定等の抑制や既存計画との統合など効率的・効果的な計画行政の進め方が示された。

- ☞ 各課所管の計画等の現状整理と統廃合等の検討し、各種計画等の一体的策定や総合計画との一体的策定・位置づけにより施策の効率的な実施や評価、計画業務のスリム化などを図る。

法令等により策定する必要がある計画等の最新の根拠条文等の確認し、今回の総合計画策定に併せて整理と統廃合等を検討する（具体は別途）。

11

## 計画策定における各役割と作業（ワーキング・グループ会議資料）

### 計画策定における考え方（テーマ）

- ・ 総合計画策定過程への住民参画
- 町民アンケート調査（評価）…第二次総合計画の評価と課題を調査
- 町民アンケート調査（将来）…第三次総合計画への期待と要望を調査
- 関係団体等ヒアリング…各課による常時（アンテナを張る）・臨時ヒアリング
- 地域自主組織との意見交換…計画草案等を用いて方向性に関するヒアリング
- 若年世代との意見交換…テゴテゴプロジェクト（仮）を通じてヒアリング
- パブリックコメント・住民説明会…計画案への意見募集
- 政策提言・意見を募る手段の検討
- 声なき声を聞くために有効な手段の検討
- まちづくりに関わる団体・協働組織の在り方の検討

12

### 3 検討作業の進捗状況

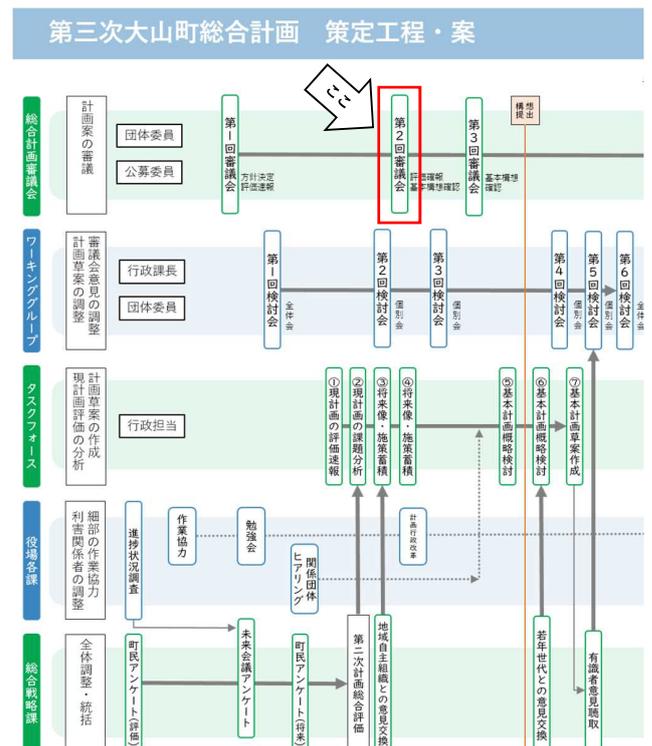
## 基本構想の検討スケジュールと今日の論点

#### ●検討スケジュール

- 8月 草案作成タスクフォース会議①  
素案作成ワーキング・グループ会議①
- 11月 草案作成タスクフォース会議②(③)
- 12月 素案作成ワーキング・グループ会議②
- 1月 大山町総合計画審議会②
- 2月 住民説明会(地域自主組織との意見交換)**
- 2～3月 素案作成ワーキング・グループ会議③
- 3～4月 大山町総合計画審議会③(→中間答申)
- 4～5月 基本構想(案)パブリックコメント**
- 6月 基本構想(案)議案提出**

#### ●今日の論点(ゴール)

- ☞ 住民説明会の開催に向けた計画案の審議
- ☞ 次回の審議会③での論点(ゴール)は、基本構想(案)の完成・中間答申



## 審議会①後の作業状況

### ●大山未来づくり10年プラン進捗状況調査報告書の完成

前回の町民アンケート結果と行政担当課の評価結果に加えて、大山未来会議アンケート結果と調査結果総評を追加してウェブサイト公表)

### ●総評の概要

#### ①計画の基本理念に対して

- ・「楽しさ自給率」のイメージの難しさや観測の難しさを指摘する意見
- ・旧町の地区すべてで地域自主組織が設立されたことを「楽しさ自給率が高まっている」と評価

#### ②町民アンケート結果から

- ・まちの自慢を「日本海や大山の自然環境」「防犯などの治安の安全性」「子育て環境の充実」とする回答
- ・高齢になったときの「交通の便・買い物・通院や医療環境」といった「日常の不便さ」を不安視

#### ③施策の評価（町民アンケートと大山未来会議アンケート）

- ・「満足度」の全体平均が「普通」（選択肢の中央）を下回る
- ・「重要度」は全体平均が「現状のまま」（選択肢の中央）を上回る

#### ④施策の評価（行政担当課）

- ・取り組みに対する自己評価は「目標達成に向けて進捗している」という結果
- ・施策に対して設定した関連指標は「やや目標達成が困難」という結果

### ●今後の検討の視点

- ・課題と効果を見定めた政策の実施や人口減少社会における協働のまちづくりの在り方
- ・人口減少社会でも安心して住み続けられるまちづくり、幸福度・満足度の高いまちへ

15

## 審議会①後の作業状況

### ●町民アンケート（評価）・大山未来会議アンケート（評価）結果分析

- ・主にアンケート結果の記述意見から施策の課題を抽出
- ・抽出した課題にどのように対応していくか、今後、具体的な施策の検討へ

草案作成  
タスクフォース  
【TF作業①】9月

結果から課題を抽出

### ●第二次計画施策の取り組み方針の検討 【各課調査①】 9月

- ・第三次計画施策は、第二次計画施策を土台に検討を始めるため、第二次計画施策の取り扱い方針を検討
- ・施策の見直しや新たな施策を追加するなど、今後、具体的な施策の検討へ

### ●現在取り組んでいる事務事業の整理 【各課調査②】 9月

- ・現在取り組んでいる事務事業の目的・効果・課題等を整理
- ・第三次計画における事業の位置づけや必要性・効果を考慮して、今後、具体的な施策の検討へ

### ●各種計画等に設定した指標の洗い出し 【各課調査③】 10～11月

- ・指標を用いて計画・実行・評価が可能な計画にするため、各種計画等に設定した指標の洗い出し
- ・今後、具体的な施策を検討する段階で、施策の評価に適切な指標の設定の検討へ

今後も複数の作業を経て基本構想から基本計画へと検討を重ねる

16

## 審議会①後の作業状況

### ●まちの将来像に関するアンケート調査の実施

- ①調査目的 概ね10年後を見据えて大山町が目指す方向性を検討するため、住民のみなさんが考える将来像（こうなってほしいまちの姿）をお伺いし、第三次大山町総合計画策定のための基礎資料に活用
- ②調査対象 令和6年4月1日時点で満18歳以上の大山町民2,000人を抽出
- ③調査方法 郵送により調査票を配布、調査票の返送またはとっとり電子申請サービスによる回答
- ④調査期間 令和6年8月26日～令和6年9月25日
- ⑤回収状況 回収数 243票（うち 用紙194票 電子49票）  
回収率 12.15%
- ⑥設問内容
- ・属性（性別、年齢、居住地域）選択式
  - ・まちの将来像（15分野に対して3つの設問）記述式
  - ・将来像のキャッチフレーズ 記述式
  - ・これからのまちづくりの改善点や力を入れるべきと思う点 記述式

17

## 審議会①後の作業状況

### ●まちの将来像に関する設問内容・回答数（15分野に対して3つの設問）

設問【1】	大事にしたい良いところ（もの）、未来に残したい良いところ（もの）
設問【2】	10年後の大山町の将来像（こうなってほしいまちの姿）
設問【3】	思い描いた大山町の将来像を実現するためにあなたご自身にできること

回答区分	記述回答数			回答率		
	【1】	【2】	【3】	【1】	【2】	【3】
① 教育・子育て	134	151	106	55.14%	62.14%	43.62%
② 文化・芸術	114	88	74	46.91%	36.21%	30.45%
③ 産業・雇用	118	132	82	48.56%	54.32%	33.74%
④ 保健・医療	102	112	103	41.98%	46.09%	42.39%
⑤ 福祉・人権	68	82	63	27.98%	33.74%	25.93%
⑥ 移住・定住	83	93	65	34.16%	38.27%	26.75%
⑦ 道路・水道	82	96	67	33.74%	39.51%	27.57%
⑧ ごみ・資源	64	76	70	26.34%	31.28%	28.81%
⑨ 情報通信	60	84	56	24.69%	34.57%	23.05%
⑩ 公共交通	65	93	49	26.75%	38.27%	20.16%
⑪ エネルギー	53	62	45	21.81%	25.51%	18.52%
⑫ 自然環境	89	86	66	36.63%	35.39%	27.16%
⑬ 防犯・防災	79	75	55	32.51%	30.86%	22.63%
⑭ 地域自主組織	64	61	58	26.34%	25.10%	23.87%
⑮ 住民参画	45	44	39	18.52%	18.11%	16.05%
⑯ その他	30	29	19	12.35%	11.93%	7.82%

※回答率はアンケート調査回答者数243に占める記述回答数

**草案作成**  
**タスクフォース**  
**【TF作業②】11月**

結果から将来像を抽出



**基本構想草案**

18

## 今日の審議事項

☞ 住民説明会の開催に向けた基本構想(案)の審議

☞ 次回の審議会③では、基本構想(案)の完成・中間答申